

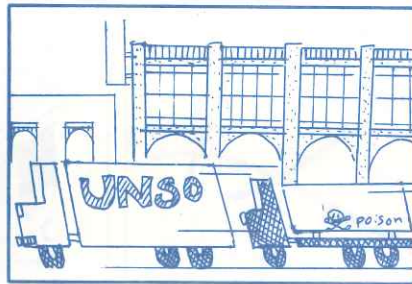


新しい鉾田町をめざして!!

このままで良いのか鉾田町の商業機能

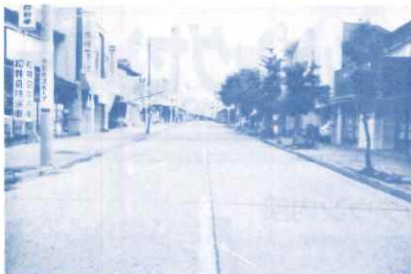
“みんなで生きるために”

▼鉾田町の現状



◎駐車場・歩道を整備すれば楽しいショッピングが……

▼整備された町並



長野県駒ヶ根市(早朝撮影)



長野県白田町



長野県佐久市

◎近代化、区画整理事業などで商店街がまとまれば大型店+専門店の機能もそなわる。



▶真岡市旧中心商店街

(同日・同時刻撮影)

もう一度 真岡の実状を



▶ショッピングセンター

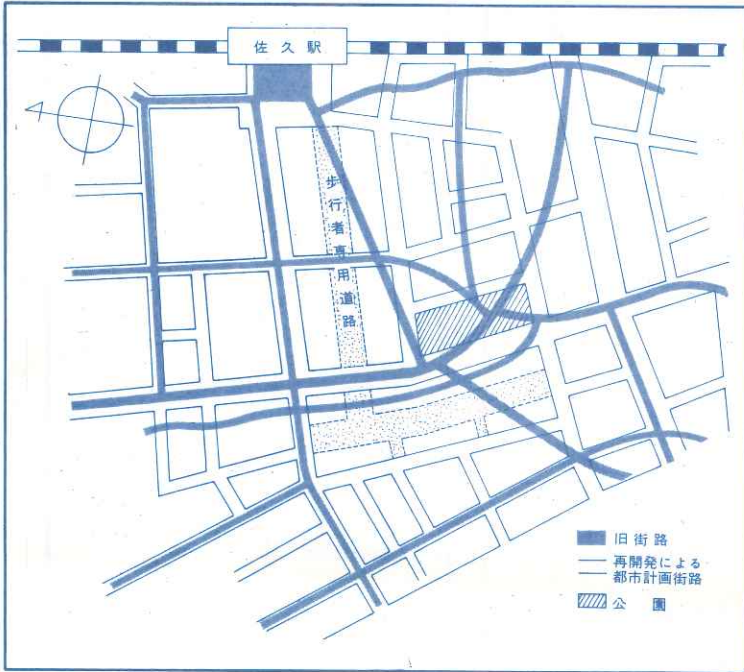
(同日・同時刻撮影)

◎商業機能を整備し、充実させることが現在鉾田町商業者に与えられた使命であり、“みんなで生きるため”の課題ではないでしょうか。

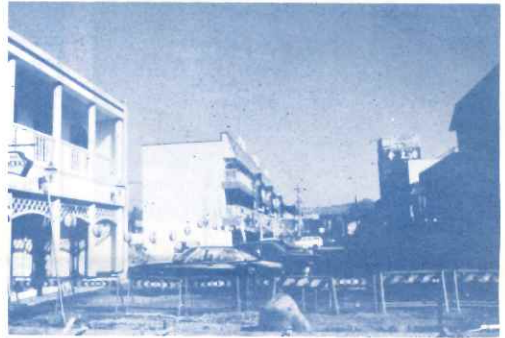
各地に見る近代化事業 (青年部視察研修ほか)

地域開発による

長野県佐久市(区画整理事業)

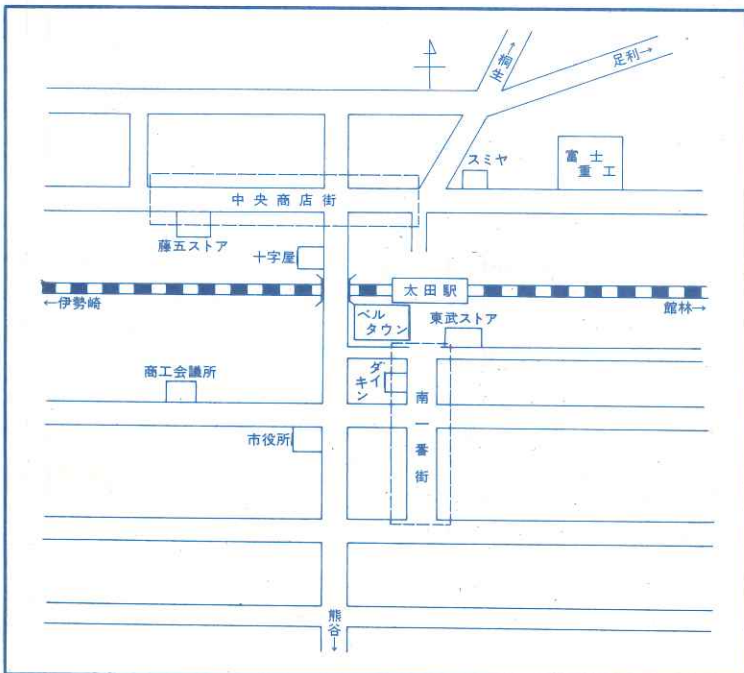


▼駅前整備状況



ショッピングセンター

群馬県太田市(ショッピングタウン)



▼ベルタウン内部



近代化

佐久市商店街近代化

佐久市は、佐久平の中心商業地であったが、時流に対応しきれなかった上、近隣商店街との競争の激化によって、徐々にその力を弱められてしまった。

そして、個々の商店のみの努力の限界を知り、小売店の存在基盤は、その商業集積地としての横の機能の充実と、個店の努力がそろった時に、成立するものであると気づき、市の区画整理事業計画を書き換えさせ、近代化事業に着手したのです。

- **組合設立** 昭和50年4月30日
- **組合員** 104店
- **総事業費** 39億9,600万円 (高度化資金より借入れ) 自己資金 330万円)
- **計画内容** 中込橋を3ブロックに分ける
 - Aブロック 駅前地区 専門店, 最寄店, レストラン, 喫茶店
 - Bブロック 共同店舗を核として, 最寄品中心
 - Cブロック 飲食街と専門, 食品, 最寄品の共存共栄 憩いの広場の設置
- **進行状況**
 - A, Bブロックは事業を開始, Cブロックは着工前
 - S51~54年の計画を2年くり延べし, S56年を最終年度とした。
- **組織面** (52.3.31現在)
 - 理事15名 監事2名
 - 委員会 (経営, 施設, 融資, 調整)
 - 最終決定機関は総会にあり。



(研修視察) 白田町商工会にて

設計

ショッピングセンターは大型店であってはならない

- **太田ショッピングセンター「ベルタウン」**
- **売場構成** 77名店モール+ユニー太田店(キーテナント)
- **売場面積** 13,272㎡
- **駐車場** 1,000台(3・4F600台, 隣接地400台)
- **所在地** 群馬県太田市飯田町1404 (太田駅前)

太田市は人口約12万(3万世帯)。東は栃木県足利市, 西は伊勢崎市, 南は埼玉県熊谷市, 北は桐生市に囲まれた東毛経済圏の中心都市である。

「ベルタウン」の商圏をみますと太田市が進めている工業開発計画によって、すでに十数ヶ所の工業団地が稼動しており、さらに、3ヶ所に大型の誘致工場が入る予定になっています。この工業団地は現在、4,200億円もの工業生産をあげ、太田市経済の一翼を担っています。

この様な社会現象に伴って、人口増加率は圧倒的に高く、県下第1位を示しています。

また、道路網は縦横に走り、その集結点となっていると同時に、日本一の車王国(1.4世帯に1台)でもあります。

この太田市にあって「ベルタウン」は、第1次商圏だけで高いシェアが確立され、第3次商圏(半径8km)でみますと、商圏人口26万と、その潜在需要の大きさが、ゆるぎない地位を確保すると説明されています。事実、初年度目標売上25億円が実質30億円、次年度目標30億円が実質35.5億円の売上と確実な伸びをみせています。

以上のような背景をもち、駅前に立地するという好条件にめぐまれて、成り立っているショッピングセンターと言えるでしょう。

▼ベルタウン全景



ま と め

消費者ニーズにマッチ
した街（店）づくり

現在全国各地で大型店出店の問題が大きくクローズアップされており、地元商店の死活問題にまで発展し、各地で絶対阻止運動の旗が掲げられている。

銚田町においても「伊勢甚ジャスコ」と「高喜」の出店が秒読みの段階に入ろうとしている。我々地元商店は果してどうなるのか？大きな問題を抱えたまま時間だけが刻々と進んでいってしまう。

一昨年の青年部の視察「栃木県真岡市」の資料は、銚田町の商人に大きなショックを与えた。「第2の真岡になるな！」を合言葉に阻止運動が展開されたが、それに平行して行なわなければならない商店街の近代化、及び各店の在り方などの行動が出遅れているようだ。

反対しただけでは問題解決にはなりません。そこでお客様が望んでいる銚田町の商店街（商店）を考えてみると、

1. 駐車場や自転車、バイク置場等の設備がある。
1. 歩道、アーケードがある。
1. 商店街がまとまっていて、買物に便利である。



個店に対しては、

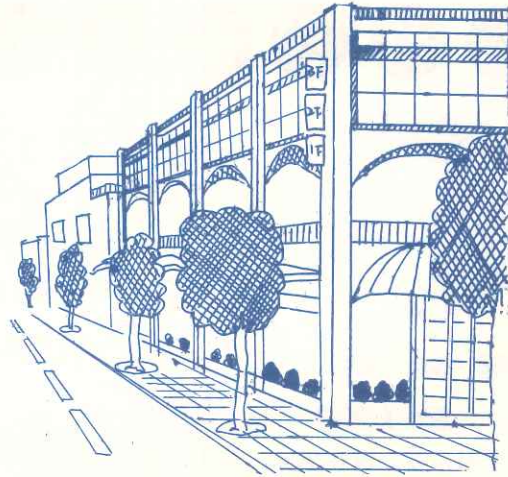
1. 商品が豊富である。
1. 鮮度の高い商品がある。
1. 閉店時間を遅く。
1. 接客態度が良い。

といったトータルのショッピング機能が要求されます。その要素をより早く各個店として、あるいは商店街として持つ事が、大型店出店反対以上に我々の基本的な問題と思います。

今回2つの先進地の資料を、前ページに記載しました。

そこでは1店1店では、地区対大型店地区対地区の競争に勝ち残れない事を感じとり、生きる為の行動を共同でおこしています。

佐久市の場合（前頁の地区参照），町全体を全く新しい街に造り変えるという壮大な計画で961戸の建物を取り壊し、



狭く曲りくねった道路も旧道を全く無視して新たに機能的なものとし、更に住宅地と商店街を分離し、商店街は歩行者専用道路で幅員25メートル，幹線道路が18メートルというものです。行政面からは、区画整理事業，都市計画などで，かなりの協力体制がとられています。この事業を計画した時に「月に行くより難かしい」と言われ，それでもやらなければ死んでしまうと，その言葉を合言葉にがんばっているそうです。

太田市の「ベルタウン」の場合はショッピングセンターであり，前記の佐久市とは異なり，佐久市が町全体の協力により町全体と個々にも潤いを与えようとする長期的展望に立った計画であるのに対し，太田市の場合は，同一意見をもった一部の人が集まり，計画し，一つの大型店を作るもので，意見の調整さえつければ短期間で建設され，時流にすみやかに対応できると言う利点があると思う。

ショッピングセンター（以下S.C）建設の場合の問題点は，S.Cを核として商店街の活性化を計れるかと言うことで，単にS.Cを造るだけではなく，それに加えて商店街の近代化を考えた総合的な地域としてのレベルアップを行政と共に計画して行かなければならず，S.C建設が大型店出店と何の変りもなくなってしまうのは，S.C建設の意味がなくなってしまうのです。

私達はもっと現状を直視し，決断し，みんなで生きるために，消費者ニーズにマッチした新しい商売の道を見つけ，前向きに進んで，常にお客様に，満足し喜んで戴ける店造り，街造りを明日の繁栄のためにも考えて行かなければならないと思います。

われら青年部



部長 山崎 英策

今後に思う

最近マスコミに於いて、80年代は、経済見通しのつかない変化の多い時代であると云われます。

これまでは経済見通しについては、案外予測が付きやすい状態でしたが、不安定な要因の多い現在では、未来については、経済評論家ですら簡単には予測しなくなっています。『専門家がむずかしい』と云う時期にも我々は商売をしていかなければなりません。今迄以上に勉強し、将来について考えながら一生懸命努力していかなければ廃業を余儀なくされてしまうのではないだろうか。

私の職業である家電について云うと、大手家電業界が地方進出を積極的に展開し始め、又地方大手もこれを向え打とうと店舗出店の展開を進める傾向にあります。この様な状況に於いて、小さな電気店は、中央と地方大手の谷間に入ってしまう身動きの出来ない状態になりつつあります。特に、資本力の差と販売量の違いが大きすぎて、価格的にも格差が出来、この谷間から脱皮するのは個人の力ではむずかしい状態です。このようなことは他業種についても云えるのではないだろうか。今迄順調に商売が伸びていても、同業種の大手が、ポンとその地に進出して来たら、一瞬にして商売は落ちこんでしまい、今迄の利益も吐出して、何とか食べていければ良い、と云う状態になってしまうのではないだろうか。

この様に、これからの時代は個人で努力しても限度がある時代であり、複数の人達が集まって共同で事業を行なう時期に来ているのではないだろうか。その為にも、これまでの青年部活動を通じて得た協調性、知識、行動力を『フル』に発揮して青年部活動をしていくと同時に、80年代に向っていま一層の努力を心がけていきたいと思えます。

青年の主張 発表に参加して

今年の鹿行ブロック正副部長会議の時、「県商工青年主張発表」へ、3年連続して、我々鉾田町商工会青年部の参加が決定し、私が代表者とな



副部長 磯崎 優

りました。発表日まで、いろいろ内容を考え当日臨みましたが、いざ演台に上って、自分の考えている事を話し始めると、最初自分の予定していた道すじと異なってしまいました。落ちついて話をしなければと思うと、益々、内容の展開が思うがままに成りません。そうこうしているうちに、持ち時間が残り少なくなると、又上がってしまうと言う連続でした。

自分の番が終り、残りの参加者全員の発表も終り、今年度の評価が審査委員長よりのべられ、私の最近では、長い一日が終りました。

ここで私は、普段何事もなく話して居る言葉を使って、多くの人に、自分の考えを知らせる難かしさを、身をもって知りました。

我々は、これから、自分で営業してゆき、生活していく為には、是非、人の前に立って、話す技術を修得しようではないでしょうか。



副部長 戸田 隆

山の恋人

溪流釣りは、私の最も好きな釣りの一つである。標高800m～1500m位の山奥の上流部を狙い山女魚(ヤマメ)や、岩魚(イワナ)を対象とする。

山女魚はサケマス科のサクラマスが、ダムや堰堤によって河降すべき道をとぎされ、一生を溪流で過すようになった悲愴な魚である。アユと同様河魚の女王と呼ばれ非常に美しく美味である。-

岩魚は俗に「生きた化石」とか「まぼろしの魚」と呼ばれる。それは氷河期の生き残りであり、人間の自然破壊によりその数を減らしているからである。私は特に岩魚が好きだ。それは岩魚の住む環境、自然はもちろん習性や適応性を知れば知るほど力強い生命力の中にロマンを感じてしまう。それは私自身の人生への問いかけのようでもある。

溪流釣りの楽しさは登山にもある。それは沢登り(上級者向き登山)にも劣らない高度の技術と知識が必要な場所も数多い。「登山」プラス「釣り」の楽しさを一度に味わえるのである。

昨年5月、新潟越後湯沢から谷川岳に向い釣り登った。残雪が多く苦労ではあったが大自然を満喫してきた。もちろん釣った魚はほとんどその場で放流してやる。大物2匹だけキープした。

自然を大切にしたい。自然のない河にはおまえたちは住まない。「まぼろしの魚」なんて呼ばれるなよ。おまえの姿は大自然そのものなのだから……。

事業報告 <委員会より>

社交ダンス講習会



第1回、銚田町商工会青年部、銚田町教育委員会共催による社交ダンス講習会を町居住者及び、町事業所等に勤務しているみなさんを対象に、男女40組、80名を募集致しまして行いました。

みなさんの参加が多く、予定人員を大巾に越え、最終的には、126名になり、うれしく思います。また講師には、銚田二高教諭の鈴木しん先生をお願いして、「ブルース」、「ジルバ」、「マンボ」、「ワルツ」、「ルンバ」そして、「タンゴ」と、多くの種目を、10月16日から、11月30日までの9回に渡って週2回火曜日と金曜日の午後7時から9時まで、台風などがあった為に、場所を諏訪小学校の体育館に移したり、文化祭などで間があきましたが、ほぼ予定通り銚田中央公民館で講習会が行なわれました。

人員は、男性3分の1に対して女性が3分の2と女性が多い為、青年部員の指導強化のため、講習日の前日に銚田二高の卓球場に於いて、特別講習会を行ない、万全を期しました。その結果を持ちまして大部分の人達が楽しく踊れる様になりました。

そして12月4日には、練習の総仕上げとして、ダンスパーティを開催致しました。当日のダンスパーティ会場は、予定の銚田公民館を変更して、町内の磯一旅館の2階大ホールにて、盛大に行ないました。又、パーティには青年部員を含め男性36名、女性42名の皆様が出席され、前回までの練習の成果を十二分に発揮して楽しく、又、華やかに踊れる事が出来ました。これも偏に皆さんの協力のお蔭と思っております。

花園溪谷ハイキング



恒例になりました青年部主催、ハイキングは、10月4日(木)、銚田町の従業員を含め男女37名が参加して行なわれました。

朝7時、商工会前を出発して、花園溪谷に10時半到着、心うきうき、歩き始めたのですが、コースは思ったより険しく、とくに猿ヶ城溪谷入口からは、ハイキングと呼ぶよりは、密林地帯を歩いているというような感じでした。

途中、湿原地帯を通ったのですが、昨日まで降っていた雨の為、枯葉の上を歩くたびに、水がにじみ出て来るし、そばを流れる小川の水が、道まであふ

れているような所でした。でも、皆さん疲れも見せずに、花園神社までつくことができました。また、景色は、最高に素晴らしい、あまり通る人もないらしく、ゴミ1つないような所なので、本当に、このコースを選んで、よかったですと思いました……。

帰りのバス中では、皆さん元気に、歌を歌いながら、楽しく充実した1日を終えることができました。

鶏頂山スキーバス



2月6日夜半、商工会青年部主催のスキーバスは、参加者36名を乗せ、鶏頂山へと出発した。

スキーのファッションは、色鮮やかで、カラフルである。その衣裳の間で、意気揚々と楽しい話が行きかう。中には舡(イビキ)が行きかう人もいた……。

しばらく乗った後、窓の外を見ると、雪が降り始めてきた。風もなく物静かである。バスの中は静まり返り、タイヤチェーンの音だけが鳴り響く……。

夜明けとともに、目を覚まし、ゲレンデに向かった。初めての人が、10数名いたので、スキー学校をすすめ、基礎をマスターする様に云った。その為か、新雪とはいえ、滑り出しが好調だった。ほとんどの人が、リフトに乗れる様になり、様々なシュプールを描き出す。素晴らしい眺めだ……。

雪が降り続いていたので、次々と、真新しいシュプールが、描かれる。だが、最初は、だれでも、その素晴らしいものに気がつかず、格好(滑降)も気にせず一生懸命ひたすらに滑り降りる。スキーの楽しさを充分にあじわい意気揚々とした様子が伺えた。帰りのバスの中は疲れが出たせいか、行きあしとくらべ、話し声も少なく、寝息が、あちこちと、飛びかう。さあ来年もそろって、出かけませんか!!

部員間の対話

商工会青年部活動の一つとして、毎年恒例の懇親会が、今年も2回行なわれた。この懇親会は、日ごろ各委員会での勉強、調査、そして、月例会と種々の講習会等の、活動の潤滑油とも云うべき、気分転換でもあります。

最初の懇親会は、部員の親睦旅行の時に、旅行先で、かくも盛大に行なわれました。

2回目は、新年会をも兼ねて、2月の月例会当日に、月例会終了後、行なわれました。

20数名の部員の出席により、磯一旅館にて、宴が始まり、カラオケで、自慢の「のど」を披露し、喝采をあびる者が続出した。酒を飲みかわし、大いに笑い、夜が更けるのを忘れてしまいそうな一時であった。部員一人一人の顔には、活気が満ちあふれ、明日への活力がみなぎっていた。

午後11時ごろ宴が終わり、有意義な、そしてより親睦を深めた部員達の懇親会であった。

事業報告 <委員会より>

社交ダンス講習会



第1回、銚田町商工会青年部、銚田町教育委員会共催による社交ダンス講習会を町居住者及び、町事業所等に勤務しているみなさんを対象に、男女40組、80名を募集致しまして行いました。

みなさんの参加が多く、予定人員を大巾に越え、最終的には、126名になり、うれしく思います。また講師には、銚田二高教諭の鈴木しん先生をお願いして、「ブルース」、「ジルバ」、「マンボ」、「ワルツ」、「ルンバ」そして、「タンゴ」と、多くの種目を、10月16日から、11月30日までの9回に渡って週2回火曜日と金曜日の午後7時から9時まで、台風などがあった為に、場所を諏訪小学校の体育館に移したり、文化祭などで間があきましたが、ほぼ予定通り銚田中央公民館で講習会が行なわれました。

人員は、男性3分の1に対して女性が3分の2と女性が多い為、青年部員の指導強化のため、講習日の前日に銚田二高の卓球場に於いて、特別講習会を行ない、万全を期しました。その結果を持ちまして大部分の人達が楽しく踊れる様になりました。

そして12月4日には、練習の総仕上げとして、ダンスパーティを開催致しました。当日のダンスパーティ会場は、予定の銚田公民館を変更して、町内の磯一旅館の2階大ホールにて、盛大に行ないました。又、パーティには青年部員を含め男性36名、女性42名の皆様が出席され、前回までの練習の成果を十二分に発揮して楽しく、又、華やかに踊れる事が出来ました。これも偏に皆さんの協力のお蔭と思っています。

花園溪谷ハイキング



恒例になりました青年部主催、ハイキングは、10月4日(木)、銚田町の従業員を含め男女37名が参加して行なわれました。

朝7時、商工会前を出発して、花園溪谷に10時半到着、心うきうき、歩き始めたのですが、コースは思ったより険しく、とくに猿ヶ城溪谷入口からは、ハイキングと呼ぶよりは、密林地帯を歩いているというような感じでした。

途中、湿原地帯を通ったのですが、昨日まで降っていた雨の為、枯葉の上を歩くたびに、水がにじみ出て来るし、そばを流れる小川の水が、道まであふ

れているような所でした。でも、皆さん疲れも見せずに、花園神社までつくことができました。また、景色は、最高に素晴らしい、あまり通る人もないらしく、ゴミ1つないような所なので、本当に、このコースを選んで、よかったですと思いました……。

帰りのバス中では、皆さん元気に、歌を歌いながら、楽しく充実した1日を終えることができました。

鶏頂山スキーバス



2月6日夜半、商工会青年部主催のスキーバスは、参加者36名を乗せ、鶏頂山へと出発した。

スキーのファッションは、色鮮やかで、カラフルである。その衣裳の間で、意気揚々と楽しい話が行きかう。中には舡(イビキ)が行きかう人もいた……。

しばらく乗った後、窓の外を見ると、雪が降り始めてきた。風もなく物静かである。バスの中は静まり返り、タイヤチェーンの音だけが鳴り響く……。

夜明けとともに、目を覚まし、ゲレンデに向かった。初めての人が、10数名いたので、スキー学校をすすめ、基礎をマスターする様に云った。その為か、新雪とはいえ、滑り出しが好調だった。ほとんどの人が、リフトに乗れる様になり、様々なシュプールを描き出す。素晴らしい眺めだ……。

雪が降り続いていたので、次々と、真新しいシュプールが、描かれる。だが、最初は、だれでも、その素晴らしいものに気がつかず、格好(滑降)も気にせず一生懸命ひたすらに滑り降りる。スキーの楽しさを充分にあじわい意気揚々とした様子が伺えた。帰りのバスの中は疲れが出たせいか、行きあしとくらべ、話し声も少なく、寝息が、あちこちと、飛びかう。さあ来年もそろって、出かけませんか!!

部員間の対話

商工会青年部活動の一つとして、毎年恒例の懇親会が、今年も2回行なわれた。この懇親会は、日ごろ各委員会での勉強、調査、そして、月例会と種々の講習会等の、活動の潤滑油とも云うべき、気分転換でもあります。

最初の懇親会は、部員の親睦旅行の時に、旅行先で、かくも盛大に行なわれました。

2回目は、新年会をも兼ねて、2月の月例会当日に、月例会終了後、行なわれました。

20数名の部員の出席により、磯一旅館にて、宴が始まり、カラオケで、自慢の「のど」を披露し、喝采をあびる者が続出した。酒を飲みかわし、大いに笑い、夜が更けるのを忘れてしまいそうな一時であった。部員一人一人の顔には、活気が満ちあふれ、明日への活力がみなぎっていた。

午後11時ごろ宴が終わり、有意義な、そしてより親睦を深めた部員達の懇親会であった。

54年度事業内容

開催月日	行 事	場 所	備 考
S.54.5.27	通 常 総 会	湊沼いこいの村	
5.27	親 睦 野 球 大 会	美 原 グ ラ ン ド	税 務 署 対 戦
7.25	講 習 会 (都市計画について)	商 工 会	町 企 画 課
8.3	新駅前開発の勉強会	磯 一	プロジェクト結成
9.7	商工青年部野球大会 (鹿行予戦大会)	鹿 島 グ ラ ン ド	準 決 勝 ま で
10.2	決 勝	美 原 グ ラ ン ド	
10.4	ハ イ キ ン グ	花 園 溪 谷	37 名
10.11	町執行部との対話	商 工 会	町 執 行 部
10.16	ダ ン ス 講 習 会	商 工 会	週 2 回 1/2 日 まで
12.4	ダ ン ス パ ー テ ィ	磯 一	
11.8	先 進 地 視 察	長野県佐久市白田町	区 画 整 理 事 業
2.7	ス キ ー	鶏 頂 山	
3.14	講 習 会 (新時代に対応する青 年経営者のあり方)	商 工 会	講師 米山純光先生 (日商センター)

部員紹介 (青年部名簿)

氏 名	住 所	備 考	氏 名	住 所	備 考
石 崎 明	新 町	下鹿長酒店	田 山 勝 敏	横 町	田山化粧品店
石 崎 千 明	旭 町	ときわ食堂	戸 田 隆	本 町	戸田化粧品店
磯 崎 優	昭和町	磯 一 旅 館	飛 田 欣 造	旭 町	飛田板金塗装
岩 崎 忠 介	旭 町	鬼 沢 そ ば 店	富 田 稔	借 宿	電 機 工 事
伊 東 光 一	本 町	伊 東 時 計 店	竹 内 亮 二	本 町	茨 城 電 球
岡 村 忠	舟 木	岡 村 商 会	椎 木 定 夫	借 宿	ハ ト ヤ 食 品
岡 村 敏 夫	舟 木	岡 村 商 店	仲 田 正 広	上 宿	仲 田 精 肉 店
大 槻 幸 治	坂 戸	大槻ハウジング	中 山 末 雄	柏 熊	中 山 建 築
鬼 沢 好 紀	旭 町	鬼 沢 そ ば 店	中 山 惣 司	柏 熊	中 山 製 材 所
小 沼 洋	鳥 栖	小 沼 建 築	星 野 博 光	桜 本	星 野 京 染 店
小野瀬 正美	御 城	小野瀬農機具店	永 長 和 広	古 宿	永 長 食 品
君和田 孝	旭 町	ススム理容所	橋 本 佳 之	堀ノ内	橋 本 商 店
木 村 貞 夫	横 町	木 村 陶 器 店	二重作 惣 司	借 宿	丸加スズキ販売
栗 原 修	七軒町	栗 原 牛 乳 店	箕 輪 潤	旭 町	みのわ写真館
桜 井 正 昭	舟 木	礎建築設計事務所	山 崎 健 一	古 宿	クリーニングのやまと
勢 司 正 躬	古 宿	スパー鋒田店	山 崎 英 策	昭 和 町	山崎電機工業所
田 山 芳 彦	上新町	喫茶もんく	渡 辺 隆	新 町	カナモノマルキ
真 家 吉 市	当 間	真家モータース	渡 辺 統 之	仲 須	八百徳米菓店

広く部員を募集しています。

我々と一緒に活動してみませんか!!

連絡先 商工会内 崎 山 悟
TEL (2) 2246

編集後記

出来上りました。しかし、初心者には気をつけよう。順序は無視される、指示は守らない。今回は、委員長が、ひどかったものの、協力者の力添えで刊行までいきましたが、冷汗のかきどおし。本当の汗と苦勞の結晶でした。皆様にとって、いくらかでも為になればうれしいのですが……。

54年度事業内容

開催月日	行 事	場 所	備 考
S.54.5.27	通 常 総 会	湊沼いこいの村	
5.27	親 睦 野 球 大 会	美 原 グ ラ ン ド	税 務 署 対 戦
7.25	講 習 会 (都市計画について)	商 工 会	町 企 画 課
8.3	新 駅 前 開 発 の 勉 強 会	磯 一	プ ロ ジ ェ ク ト 結 成
9.7	商 工 青 年 部 野 球 大 会 (鹿 行 予 戦 大 会)	鹿 島 グ ラ ン ド	準 決 勝 ま で
10.2	決 勝	美 原 グ ラ ン ド	
10.4	ハ イ キ ン グ	花 園 溪 谷	37 名
10.11	町 執 行 部 と の 対 話	商 工 会	町 執 行 部
10.16	ダ ン ス 講 習 会	商 工 会	週 2 回 1/2 日 まで
12.4	ダ ン ス パ ー テ ィ	磯 一	
11.8	先 進 地 視 察	長 野 県 佐 久 市 白 田 町	区 画 整 理 事 業
2.7	ス キ ー	鶏 頂 山	
3.14	講 習 会 (新 時 代 に 対 応 す る 青 年 経 営 者 の あ り 方)	商 工 会	講 師 米 山 純 光 先 生 (日 商 セ ン タ ー)

部員紹介 (青年部名簿)

氏 名	住 所	備 考	氏 名	住 所	備 考
石 崎 明	新 町	下 鹿 長 酒 店	田 山 勝 敏	横 町	田 山 化 粧 品 店
石 崎 千 明	旭 町	と き わ 食 堂	戸 田 隆	本 町	戸 田 化 粧 品 店
磯 崎 優	昭和町	磯 一 旅 館	飛 田 欣 造	旭 町	飛 田 板 金 塗 装
岩 崎 忠 介	旭 町	鬼 沢 そ ば 店	富 田 稔	借 宿	電 機 工 事
伊 東 光 一	本 町	伊 東 時 計 店	竹 内 亮 二	本 町	茨 城 電 球
岡 村 忠	舟 木	岡 村 商 会	椎 木 定 夫	借 宿	ハ ト ヤ 食 品
岡 村 敏 夫	舟 木	岡 村 商 店	仲 田 正 広	上 宿	仲 田 精 肉 店
大 槻 幸 治	坂 戸	大 槻 ハ ウ ジ ン グ	中 山 末 雄	柏 熊	中 山 建 築
鬼 沢 好 紀	旭 町	鬼 沢 そ ば 店	中 山 惣 司	柏 熊	中 山 製 材 所
小 沼 洋	鳥 栖	小 沼 建 築	星 野 博 光	桜 本	星 野 京 染 店
小 野 瀬 正 美	御 城	小 野 瀬 農 機 具 店	永 長 和 広	古 宿	永 長 食 品
君 和 田 孝	旭 町	ス ス ム 理 容 所	橋 本 佳 之	堀 ノ 内	橋 本 商 店
木 村 貞 夫	横 町	木 村 陶 器 店	二 重 作 惣 司	借 宿	丸 加 ス ズ キ 販 売
栗 原 修	七 軒 町	栗 原 牛 乳 店	箕 輪 潤	旭 町	み の わ 写 真 館
桜 井 正 昭	舟 木	礎 建 築 設 計 事 務 所	山 崎 健 一	古 宿	ク リ ー ニ ン グ の や ま と
勢 司 正 躬	古 宿	ス パ ー 鋒 田 店	山 崎 英 策	昭 和 町	山 崎 電 機 工 業 所
田 山 芳 彦	上 新 町	喫 茶 も ん く	渡 辺 隆	新 町	カ ナ モ ノ マ ル キ
真 家 吉 市	当 間	真 家 モ ー タ ー ス	渡 辺 統 之	仲 須	八 百 徳 米 菓 店

広く部員を募集しています。

我々と一緒に活動してみませんか!!

連絡先 商工会内 崎山 悟
TEL (2) 2246

編集後記

出来上りました。しかし、初心者には気をつけよう。順序は無視される、指示は守らない。今回は、委員長が、ひどかったものの、協力者の力添えで刊行までいきましたが、冷汗のかきどおし。本当の汗と苦勞の結晶でした。皆様にとって、いくらかでも為になればうれしいのですが……。